

第28期第4回常任理事会議事録

日時：1994年12月19日 10時00分～13時10分

場所：気象庁内日本気象学会事務室

出席者：松野、野口、磯部、大西、小倉、斉藤、里村、竹内、田中、永田、藤谷 以上11名

議事

1. 第28期第3回常任理事会議事録の確認

一部修正のうえ承認。『天気』に掲載された第2回常任理事会議事録について、一部不適当な記載があったことが指摘され、これについての訂正を第3回常任理事会議事録の末尾に加えて『天気』に掲載することを決定。

2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…最近の会員数の動向、機関誌発行状況について資料説明。

会計…1995年度の会費納入が行われている。詳細については次回以降の常任理事会で報告する。

天気…12月号の内容及び1, 2月号の予定を報告。

- ・最近、解説でも談話室向きでもないが、ある程度まとまった記事の投稿がある。これを掲載する欄として、1月号から「情報の広場」を新設する。

- ・投稿規定や投稿案内で現状と合わない部分があり、これを1月号から変更する。

研究ノート…「やませ特集」は版下を作成中。「南極氷床と気候」は取りまとめ中。

その他4編は今年末の原稿締め切りで執筆依頼中。

教育と普及…夏季大学の報告。『天気』12月号に掲載する。

講演企画…『天気』12月号に1995年度春季大会の告示を行う。今大会から第2種講演の申し込み規定を変更し、試行してみる。

総合計画…地球惑星関連学会連絡会から、95年3月に行われる「惑星地球と地震」に関するシンポジウムの共催についての問い合わせがあった件につき、常任理事会として討議。気象学会との関連が薄い分野なので、共催には加わらないこととする。

パソコン通信…10月のアクセス回数605回。「ONLINE TODAY JAPAN」や夕刊フジに学会BBSの紹介記事が掲載されたためか、通常の2倍程度のアクセスがあった。

- ・前回常任理事会で議論のあった、学会会員名簿へのアクセスについて調査したところ、会員以外からは内容を見られない措置がすでに行われていた。

- ・現在のユーザー登録者の内訳は会員100に対し非会員200の割合であり、もう少し会員ユーザーを増やす必要がある。

その他…アメリカ気象学会75周年記念大会への学会代表派遣の件は、松野理事長の都合がついたため、理事長が参加することにする。

3. 会員の新規加入等について

個人13名の入会を承認。個人33名の退会を報告。

2年間会費未納会員49名、2年間所在不明会員11名について、会員登録を抹消することを報告。

4. 名誉会員の選任基準について

庶務担当理事の提案に基づき常任理事会として討議。「基準」というのは拘束が強すぎるので「目安」とする。また、この目安は今回の名誉会員推薦についてのみ用い、次回以降の理事会を拘束するものではないことも確認。

理事長経験者や長期間理事を務めた人は推薦対象ではあるが、それだけで機械的に推薦するのではなく、もう少し緩やかな表現に改める。研究活動などで第一線は退き、かつ現役の学会理事・監事ではない人から推薦することについては異論なし。日本の気象学の発展や気象学会の国内的・国際的地位の向上に著しく貢献した人については、国内外、学会員であるなしを問わず推薦できるようにする。学会員であることを学会として誇れる人も推薦できるようにする、などの意見が出た。名誉会員の総数については、おおむね10名以内が適当との共通認識であった。

これらの意見に基づいて庶務担当理事が原案を修正し、理事長等の確認を得たうえで目安を参考にした名誉会員候補の推薦を全理事に依頼する。候補者推薦に基づいて次回の常任理事会で最終選考を行い、全理事の信任投票にかけたうえで、『天気』3月号で大会議案として告示する。

5. 関東支部の設立について

理事会の議論を受けて庶務担当理事から「支部設置のメリット、デメリット」についての話題提供を行い、これに基づき常任理事会として討議。夏季大学担当を関東支部へ移行すること、春季大会開催を

支部担当とすること、支部交付金のありかたなどについて考えられる効果や影響について議論がなされた。

早急に結論を出すことはせず、1月に予定されている教育・普及委員会で常任理事会での討議を参考にして夏季大学のあり方を議論してもらうほか、すでに結成されている関東地区連絡会を開催し、春季大会の担当を決める議論のなかで支部設立の問題も考えてもらうこととする。

6. 第28期第1回評議員会の開催について

遅れている評議員への委嘱手続きを至急進めると同時に、第1回評議員会の開催日について、1月30日(月)を第一候補、1月24日(火)を第二候補として評議員の都合を聞き、そのうえで日取りを決定することとする。

7. 1995年度事業計画案、予算案について

ひきつづき、各担当から来年度計画に盛り込むべき企画を受け付けることとする。

8. 平成7年度文部省研究成果公開促進費の募集について

標記科学研究費補助金のうち、「研究成果公开发表(B)」は一般社会人を対象にしたシンポジウムなどが助成の対象とされている。夏季大学(支部主催を

含む)はこの対象になると思われるので、申請したいとの提案が事務局からあり、常任理事会として討議。条件のなかに、開催日数は原則1日、参加費を徴収しない、などの夏季大学が該当しない項目があるため、申請が可能かどうかについて文部省の担当者に打診したうえ、申請する方向で事務局を中心に調整することとする。

9. 海外に留学中の学生会員の会費について

従来からの慣習で、海外留学中の会員の会費については、会費減額措置を取らず、一般会員と同額としてきた。定款や細則の規定からみて是正すべきとの提案が事務局からあり、常任理事会として討議。海外留学中の会員についても学生会員の扱いをすることとする。

これに関連して、現行の学生会員の認定があいまいであることが議論になり、今後は、会費支払い時に学生であることの証明の添付を求めることとする。この証明は存学証明書のほか、指導教官などの確認、学生証の写しなどでも良い。影響が大きいので、『天気』にお知らせを掲載するとともに、現在登録されている全学生会員にも別途通知する。通知の手順や文案については、庶務担当理事と事務局で原案を作成する。

第7回 IGBP/GAIM 研究会のお知らせ

日時: 未定(日本気象学会春季大会に合わせて行います)

会場: 未定(東京)

日本気象学会春季大会の日程に合わせて第7回のGAIM研究会を開きます。今回も招待講演と一般講演を行う予定です。地球圏と生物圏との間の相互関係を主にモデルを用いて研究されておられる方の発表を募

集いたします。希望者は3月20日までに演題を添えて下記にお申し込み下さい。

尚、参加費などは一切ありません。

申込先: 〒305 つくば市天王台1-1-1

筑波大学・生物科学系

及川 武久

(TEL & FAX) 0298-53-6661